

元気な地域づくり 活動報告会

◆ プログラム ◆

13:30 開会

挨拶 横浜市長 林 文子

13:35 基調講演

法政大学法学部教授 なわた よしひこ 名和田 是彦 さん
「横浜のコミュニティのこれまでとこれから」

【資料1】

14:10 事例発表

(1) 都筑区 かちだ地区 「誰もが安心して暮らすために ~今、団地ができること~」
中山 敏明 さん (かちだ連合自治会副会長) 【資料2】

(2) 瀬谷区 阿久和北部地区 「『隣近所の助け合い』から広がる『見守り合い』」
清水 靖枝 さん (阿久和北部地区社会福祉協議会会長) 【資料3】

(3) 鶴見区 寺尾・寺尾第二地区 「楽しみながら福祉のまちづくり」
石川 晴彦 さん (鶴見寺尾地区福祉のまちづくり推進協議会会長) 【資料4】

(4) 旭区 旭北地区 「誰もが住み続けたいふる里づくりをめざして」
あきら 星野 耿 さん (旭北地区連合自治会長) 【資料5】
野口 雪江 さん (旭北地区子育て支援委員会理事)
小澤 美津枝 さん (旭北地区社会福祉協議会副会長)

15:20 休憩

15:35 意見交換

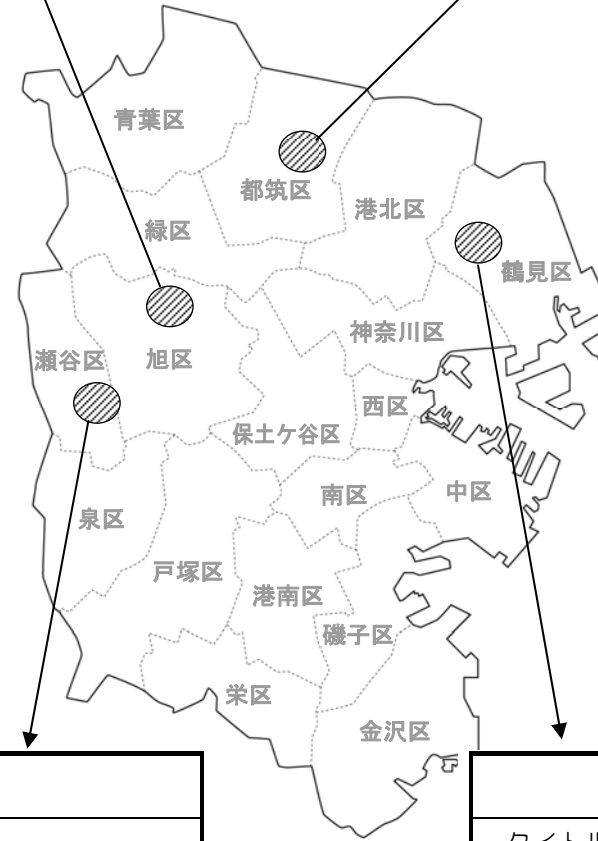
事例発表地区4地区のみなさん

コメンテーター 法政大学法学部教授 なわた よしひこ 名和田 是彦 さん

コーディネーター まちづくりコーディネーター やまじ きよたか 山路 清貴 さん

16:30 閉会

発表地区紹介



(4) 旭区 旭北地区

タイトル	「誰もが住み続けたいふる里づくりをめざして」
発表者	星野 耿(あきら)さん (旭北地区連合自治会長) 野口 雪江さん (旭北地区子育て支援委員会理事) 小澤 美津枝さん (旭北地区社会福祉協議会副会長)
活動の概要	旭北地区は、「都会の中のふる里づくり」、「防犯・防災対策の進んだまちづくり」、「安心して子育てができるまちづくり」、「地域全体が支えあえるまちづくり」を目標に、旭北地区連合自治会、旭北地区社会福祉協議会などが連携して取組を進めています。 平成20年度からは、この目標の実現に向けて「ふる里づくり事業」に取り組み、子どもから高齢者まで誰もが住み続けたい、魅力ある明るいまちづくりを進めています。
こんな団体が協力し合っています！	地区連合自治会、地区社会福祉協議会、まちぐるみ福祉推進会議、地区民生委員児童委員協議会、体育指導委員連絡協議会、青少年指導員協議会、家庭防災員、老人クラブ、防犯活動委員会、防災活動委員会、旭北Eフレンズ、友愛活動推進員、中堀川ふる里公園愛護会、NPO法人たちばな福祉会、子育て支援運営委員会、消費生活推進員、保健活動推進員、日赤奉仕団、地域ケアプラザ など
地域の概要	①区域 旭北地区連合自治会 ②人口・世帯数等 人口 約 19,000 人、世帯数 約 7,600 世帯、高齢化率 22% (H21.3 現在) 自治会町内会数 24 (H21.11 現在) ③町の特徴 ・区の北部を流れる中堀川沿いの丘陵地に開けた住宅地です。 ・緑区と隣接し、戸建住宅、公営住宅、民間マンションが混在する地域。今後高齢化が急速に進むことが見込まれます。 ・昭和40年代以降開発が進みましたが、市街化調整区域も多く、緑も豊かな地域です。

(1) 都筑区 かちだ地区

タイトル	「誰もが安心して暮らすために ～今、団地ができること～」
発表者	中山 敏明さん (かちだ連合自治会副会長)
活動の概要	毎年「孤立死」が団地の中で問題となっていました。この問題を解決するために、お互いが支え合うことを目的として「おもしろネットワーク連絡会」を組織化しました。「めくぱり・きくぱり・おもしろ」をモットーに、住民全員で取り組める活動を地域住民、地域役員、関係機関等と連携を図り検討を重ねました。 平成20年度には、①緊急連絡先カード等の作成、②夜間に電灯がついているかどうかを見守るライト運動、③閉じこもり予防のための体操教室を実施し、平成21年度には、①気軽に立ち寄れる「サロンひだまり」開設、②地域ボランティア育成講座を実施しました。 リーフレットや通信の発行により見守りへの関心の高まりを実感しています。
こんな団体が協力し合っています！	地区連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員、老人クラブ、友愛活動推進員、昼食会や地域ボランティアの代表、居宅介護支援事業者・介護保険サービス提供事業者、住宅管理者、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ（地域包括支援センター） など
地域の概要	①区域 かちだ連合自治会 ②人口・世帯数等 人口 約 2,200 人、世帯数 約 1,200 世帯 (H21.9 現在) 高齢化率 43% (65歳以上のひとり暮らし高齢者率 29%) 自治会町内会数 4 (H21.9 現在) ③町の特徴 ・勝田団地（市営賃貸住宅：昭和41年入居開始）は、最寄り駅が市営地下鉄仲町台駅で、駅からは徒歩約15分の距離にあります。 ・近くには身近に四季を楽しむことができるせせらぎ公園があり、自然環境に非常に恵まれた所です。 ・当団地の居住者は、10人に4人が65歳以上の高齢者となっており、居住者の高齢化が問題となっています。

(2) 瀬谷区 阿久和北部地区

タイトル	「『隣近所の助け合い』から広がる『見守り合い』」
発表者	清水 靖枝さん (阿久和北部地区社会福祉協議会会長)
活動の概要	平成20年6月に、阿久和北部地区内の自治会、地区社会福祉協議会、各種団体の代表者をメンバーとする「阿久和北部見守りネットワーク実行委員会」を設立して、この実行委員会を中心に見守り活動を展開しています。 継続的な見守り合いに取り組むためには、日常の「隣近所の助け合い」が大切であると考えて、地域の実情や団体の活動状況に応じて“できる範囲で”取組を進めています。 また、地区内の見守り活動を広げるきっかけづくりとするために、昨年・今年と11月に「阿久和北部見守り合いのつどい」を開催して、地区内の住民に活動のPRを行っています。
こんな団体が協力し合っています！	「阿久和北部見守りネットワーク実行委員会」には、青少年指導員、体育指導委員、民生委員児童委員、環境事業推進員代表など連合自治会で推薦する各種役員の代表すべてが入っているほか、配食サービスの会代表、「おやじの広場」代表、中途障害者リハビリの会代表など、地区内で活動するボランティアグループの代表すべてが入っています。
地域の概要	①区域 阿久和北部連合自治会 ②人口・世帯数等 人口 約 11,000 人、世帯数 約 3,600 世帯、高齢化率 21.1% (H21.4 現在) 自治会数 11 (H21.4 現在) ③町の特徴 ・ご近所同士「顔の見える関係」ができています。 ・戸建て中心ですが、近年は集合住宅などが増えています。 ・地域活動が盛んに行われています。 ・川や公園など自然に恵まれた地域です。 ・区内平均よりも高齢化率が若干高くなっています。

(3) 鶴見区 寺尾・寺尾第二地区

タイトル	「楽しみながら福祉のまちづくり」
発表者	石川 晴彦さん (鶴見区寺尾地区福祉のまちづくり推進協議会会長)
活動の概要	寺尾地区・寺尾第二地区連合会、自治会町内会、地区社会福祉協議会、福祉施設、学校、事業者、個人等と行政で組織された「鶴見寺尾地区福祉のまちづくり推進協議会」が中心に活動しています。 自分たちの住むまちの資源や魅力、課題を共有するため、作業部会では、いつでも、誰もが自由に参加できる話し合いのほか、話し合いで出たアイデアを形にする活動に取り組んでいます。まち自慢ポスターの募集、ナイトウォークなどイベント的要素も加えた活動で、参加者は楽しみながら活動しており、まちづくり活動の輪が広がっています。
こんな団体が協力し合っています！	地区連合自治会、自治会町内会、地区連合会婦人部、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員、地域活動ホーム、特別養護老人ホーム(地域包括支援センター)、学校、商店会、バス事業者、地区センター、地域ケアプラザ、賛同する個人など
地域の概要	①区域 寺尾地区・寺尾第二地区連合会 ②人口・世帯数等 人口 約 55,000 人、世帯数 約 24,000 世帯 (H21.3 現在) 高齢化率 寺尾地区 18.2%、寺尾第二地区 17.7% 自治会町内会数 15 (H21.11 現在) ③町の特徴 ・山坂が多い複雑な地形の上に狭い道路が通っています。鶴見駅まで歩くと30分はかかるため、交通手段はバスが中心です。 ・樹林、湧水など自然が残されている地域で、寺社や史跡などの歴史資源に恵まれた住宅地です。企業社宅だったところに、住宅が建設され若い世代が住み、古くからの住宅地の一角では、高齢化が進んでいます。

講師プロフィール

な わ た よしひこ
名和田 是彦 さん （法政大学法学部教授）

コミュニティ組織の研究とともに、「まちづくりフォーラム港南」の代表を務めるなど、自らも市民活動団体に参加し、地域のまちづくりの実践活動も行っています。

最近の著書では、近年のコミュニティや自治体行政に見られる新しい傾向＝「協働」や「新しい公共」によるサービスについて、日本と各国を比較・研究しています。

〔主な委員〕

- ・ 総務省新しいコミュニティのあり方に関する研究会座長
- ・ 第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会副委員長
- ・ 横浜市市民活動推進ファンド審査委員 など

〔著書〕

「コミュニティの自治 ― 自治体内分権と協働の国際比較」(日本評論社) など多数

コーディネータープロフィール

や ま し きよたか
山路 清貴 さん （山路商事株式会社 都市・建築設計室長
NPO法人横浜プランナーズネットワーク理事長）

建築、道、公園など都市を構成する個々の「もの」から総体としての「まち」に至るまで、そこで生活する「ひと」の立場にたって、人間性に対応した一貫した魅力を生み出すこと（＝まちづくり）を信条としています。

市民参加型のプロジェクトを数多く経験しており、横浜市では、大岡川プロムナード、野口英世記念公園と長浜ホールの整備などを手掛けています。

また、横浜市の「まちづくりコーディネーター」として、鶴見区寺尾地区や旧東海道戸塚宿周辺地区のまちづくりなどにも携わっています。

〔主な著書〕

「まとまらない意見をまとめる合意形成の技術」(西東社)